

理事通信

No. 2

発行：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東京都新宿区四谷本塩町2-11 URL: <https://ys-east.or.jp/>



24年8月11日 2024 YMI フェスティバル (タイ チェンマイ) にて

理事メッセージ「今年はどうなるのでしょうか」

2024-2025年度 東日本区理事 山田 公平

サポートファンド スタート

東日本区収支の過去5年を見ても、収入は会員の減少(昨年度7月1日は726人、今年度7月1日は663人)と減少しました。4つのクラブ(茨城、東京ベイサイド、東京世田谷、横浜とつか)の解散もありました。この5年間で、区費収入も200万円減少し、それに沿って収支も赤字の連続で、翌年度への繰越額が200万円となり、何とかこの赤字傾向を食い止める必要があります。区の会計は、危機的なところに来ています。そこでこの今回のサポートファンドをお願いしました。何人かの大口献金もあり、8月末段階で約25件の協力で、220万円を超えました。今年は、何とか一般会計の資金状況を盛り返し、今後の変化を起こすためにも体力をつけておくことが大切だと確認しています。

そこで今年は、しっかり将来の方向を見据えていく必要があります。我慢と決断の時です。未来のワイズの方向を見極め、それを実行に移す体力を取り戻す年になると考えています。ユースアクション拡充もその一つですが、外部からの助成金も得る努力を強めてワイズメンズクラブの活動の意義を社会にアピールできるようにしたいのです。その基盤を強くするためのサポートファンドです。ワイズの運営基盤を強めていく1年にしましょう。皆様からの応援と多くのクラブからのサポートファンドへの協力をお願いします。

INDEX

・理事メッセージ(サポートファンド).....1	・国際協会からのお知らせ(次期国際会長).....4
・求めるワイズの姿.....2	・国際協会からの表彰.....4
・ユースアクション.....3	・今後の予定.....4
・献金目標に関する方針・特記ニュース.....3	・入会者、献金者一覧.....5

理事が求めるワイズの姿

ユースのエンパワメントにつながる一連の働きを通して、「ワイズとは、全国各地でそんな試みを行っていかうとしている団体」というようなイメージを作り上げていきたいと考えています。メンバー減少もありますが、先日の北海道の東日本区大会には **300** 名以上の参加がありました。「ワイズとはこんなことを目指していかうとしている」というイメージを地域社会に浸透できたら、それなら応援しようという人も出てくると信じています。それが、昨年度と今年度の基本的な考え方です。今年の主題は、「ワイズの方向性を見極める」としました。2年後、ユースアクションは今の **7** か所から **10** 以上のところで実行できないかと考えています。地元のワイズが、ユースとの接点を持ち、YMCA と共に、あるいは YMCA のない所でもこの運動を拡げていけたら、**10** 年後のワイズはもっと応援したいという人たちが集まっているのではないのでしょうか。

今年の YVLF (Youth Volunteer Leader's Forum) は **9** 月 **6**-**8** 日に東京 YMCA 山中湖センターで行われました。今年は、社会問題に目を向けて、ユースグループとして活動を興してもらいたいという願いを込めて行われ、東日本地区から約 **30** 名のリーダー有志が集まりました。昨年、熊本 YMCA リーダーたち数名が始めたユースアクションの一つで不登校児への取り組みがありました。YMCA らしいユニークな発想で大成功。参加する児童も増えましたが、その何倍ものユースボランティアが増え、ユニークな成果と喜びを感じることができました。そんな取り組みを今年の YVLF で発表してもらいました。YVLF で何かを感じ、それぞれの地で自分たちも何かを始めてみたいというきっかけになることを期待しています。



伊藤（熊本 YMCA）さんによる基調講演

丁度タイミングよく、不登校児への対応プログラム助成金が与えられることになりました。TOF (Time of Fast) というワイズ国際プロジェクトに申請していました。不登校児支援活動を東日本区内の **3** 拠点で研修と居場所提供を提案した TOF プランが今年採択されました。2025 年 **1** 月から **3** か年継続して立ち上げる不登校児支援プロジェクトに **15,000** スイスフランの支援金が認められました。日本円にして **255** 万円になります。

悲しいニュースをお伝えします。今年度 YVLF の実行委員長である城田教寛（たかひろ）さんが、YVLF 開催中の東京 YMCA 山中湖センターで **9** 月 **7** 日に亡くなりました（享年 **51**）。城田さんは、YVLF 実行委員長として活躍されていました。ご自分の人生の最期をこのプログラムのためにささげられました。心からお悔やみを申し上げ、ワイズの使命を達成するために最期まで奮闘された城田メンのご活躍に感謝申し上げます。



第 36 回 ユースボランティア・リーダーズフォーラムの参加者

今年度、東日本区で行われている7つのユースアクション

札幌 YMCA の Goods Drive : いらなくなったスキー用品などを安く販売。ボランティア急増中

盛岡 YMCA の人権カルタの活用によって人権意識を向上、地元弁護士会が協力。

川越 YMCA グローバークラブ : 障害や不登校などの子どもたちを交えた地元での活動展開

東京 YMCA 南センター : 外国にルーツのある子どもたちとの多文化交流活動

山梨 YMCA 銀河鉄道キャンプ場 : ユースリーダーとワイズの交流をしながらキャンプ場作り

長野・松本地域ユース for 能登 : 留学生を中心に地元大学生とワイズが能登への支援活動展開

中央大学 Y : 外国にルーツのある子どもたちとの多文化交流活動

これらの活動は、今年一杯行われているので、ぜひ活動現場を応援するか、可能ならワイズの例会に招いて報告を聴いて下さい。

献金目標に関する方針

全てのクラブが毎年国際献金や国内献金をしています。ワイズメン一人一人が献金を通して世界的組織の一員として参加している一つの証しとなっています。国際献金には TOF (Time of Fast 断食のとき)、BF (Building Fellowship)、RBM (マラリア撲滅)、YES (新クラブ設立支援) など、東日本区は昨年度1年で約200万円を国際協会を通して国際プロジェクトに使ってきました。一方国内献金は国内の活動を支援するために集められていますが、CS (地域奉仕活動) に73万円、ユース支援に26万円、ASF (Alexander Scholarship Fund) でYMCAの主事養成支援23万円に充てられます。

これらの献金に関する方針として次のように考えています。

1. 献金目標として国内活動をもっと具体的に応援するものに向けたい。
2. そのためにこれまで国際献金目標と国内献金目標の調整をする。
3. 一人一人の献金目標をより現実的に達成できるように使い道など明確にする。
4. ワイズ東日本区内での活動支援する資金をより強くアピールしたい。

特記すべきニュース :

1. 湘南沖縄部に新しいクラブが誕生します。神奈川県大和市を拠点としたクラブです。予定として、設立総会は9月14日(土)大和商工会議所にて18時から20時まで、チャーターナイトは11月24日(日)に予定。新しいクラブを励ますために参加してください。



2. 国際大会 2024 が、タイのチェンマイで 8 月 9 日から 12 日まで開催されました。世界 39 か国から 507 名が参加して国際フェスティバルというテーマで行われました。日本からは東西合わせて 60 数名の参加となりました。基調講演は、元世界 YMCA 同盟総主事のヨハン・エルトヴィック氏（今年ノルウェー区ワイズ理事として参加）が世界におけるワイズ運動への期待を話しました。今期の国際理事 IP であるインドのシャナヴァスカーン氏も今年度の理事方針を 10 の項目で紹介されました。各国のファッションショーやゲーム大会など、楽しい会となりました。
3. 2025 年 8 月には、第 27 回アジア太平洋地域大会が熊本で行われます。目標は、900 名というところで多くの参加を東日本区からも期待されています。同時期に行われる AYC（Area Youth Convocation）も熊本 YMCA キャンプ場で行われ、東日本区からも多くのユースを送り出したいと考えています。これまでのユース支援として、IYC（国際）と AYC（アジア太平洋地域）の他に、ワークキャンプ、iGo（Internship for Global Outreach）と呼ばれるユースインターン制度、ユースアクション、それにユースクラブの創設など総合的に、関連ある活動として作り上げる良い機会となると信じています。



ワイズメンズクラブ国際協会からのお知らせ

2024-25 年度の国際会長 IP は台湾のチャーミング・シェン氏が就任予定をしていましたが、6 月に急遽入院し、そのため次期理事であったシャナヴァスカーン氏（インド）が一年繰り上げて国際会長に就任されました。そのため、国際憲法に基づき、次期国際会長 IPE 選挙が 8/22-9/21 の区理事（RD）による東京が行われることになりました。ケニア、韓国、シンガポールの 3 人に絞られた候補から Edward Ong（シンガポール）氏が次期国際会長に選出されました。東日本区を代表して山田理事が投票しました。



国際協会からの表彰

2023-24 エルマークロウ賞（昨年度顕著な働きをされた部長）

- ◎ 富士山部直前部長 榎本 博さん（伊東クラブ）

2023-24 ブースター賞（3人以上の新会員を紹介したメンバー）

- ◎ 小松 仲史さん（厚木クラブ）
- ◎ 佐藤 重良さん（甲府 21 クラブ）
- ◎ 濱塚 有史さん（もりおかクラブ）

表彰は、それぞれの方の所属する部大会の席上で行われる予定です。おめでとうございます。

今後の予定

9 月 14 日（土）	大和クリエイティブ Y サービス クラブ（仮称）設立総会	10 月 19 日（土）	あずさ部部大会
9 月 28 日（土）	北東部部大会	10 月 26 日（土）	湘南・沖縄部部大会
10 月 5 日（土）	東新部部大会	11 月 9 日（土）	第二回役員会（ズーム予定）
10 月 12 日（土）	富士山部部大会	11 月 24 日（日）	大和クリエイティブ Y サービス クラブ（仮称）チャーターナイト
10 月 19 日（土）	関東東部部大会	12 月 7 日（土）	部長・主任研修会（ズーム予定）

入会者一覧

2024年7月・8月

入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他
7月1日	関東東部	東京グリーン	新倉 雅隆	目黒 卓
7月1日	東新部	東京センテナ	郭 恩珠	
7月1日	東新部	東京センテナ	中村 幸	
7月1日	湘南・沖縄部	横浜つづき	三木 直子	
7月1日	湘南・沖縄部	厚木	井筒 幸乃	佐藤 節子
7月1日	湘南・沖縄部	鎌倉	藤澤 幸隆	板崎 淑子
7月1日	富士山部	御殿場	秋田 敬	
7月2日	あずさ部	甲府 21	志村 直樹	荻野 清
7月2日	あずさ部	甲府 21	江口 英雄	野々垣 健五
7月2日	あずさ部	甲府 21	平田 耕治	奈良田 和也
7月8日	富士山部	伊東	山本 絵津子	榎本 博
7月22日	富士山部	熱海	後藤 武彦	日下 智博
7月22日	富士山部	熱海	堀井 大輔	日下 智博
7月22日	富士山部	熱海	河村 昌彦	橋本 一実
7月26日	北東部	石巻広域	梶原 友広	関川 祐一郎
7月26日	北東部	石巻広域	石井 龍子	川上 直哉

JEF 献金

2024年7月・8月

献金日	献金者	クラブ	献金趣旨	金額
7月26日	利根川 恵	川越	2023-24 アジア太平洋地域会	30,000
7月29日	十勝クラブ	十勝	第28回東日本区大会開催感謝	100,000
7月31日	小林 隆	熱海グロウリー	23-24 東日本区事務所終了感謝	10,000
8月23日	長尾 昌男	千葉ウエスト		10,000

- ・ワイズサポートファンド、引き続き募集中です。

今なぜ サポートファンド (東日本区支援特別献金) なのか？

厳しさを増す東日本区財政

ワイズメンズクラブ東日本区は5年続けて財政的に厳しい状況になっています。主な原因は、入会者より退会者が多いことが総会委員が減少していること。ここ数年高金利により、高利貸業者は同じ金額であっても50%近く利息が高くなっていて、収支がだれなくなっています。それはあまりにも急激な変化でした。

必ず夜明けは来る その日のために

この危機に対応するため2024-25年度の支出予算で、区役員手当を半分にし、研修等の交通費補助や旅費も含めて大幅な支出削減に乗り出しました。しかし限られた時間の制約の中で努力にも限界があります。体制、財政の安定化を実現するまでの期間、サポートファンド(東日本区支援特別献金)としてみなさまの出来る範囲での支援をお願いいたします。目標額は120万円です。個人として、あるいはクラブとして一ロ1万円以上の献金をお願いできれば幸いです。

理事の下に財政健全化タスクフォースを立ち上げ、財政の確立のためにあらゆるタブーを排して検討を進めるとともに、ワイズとは何かを明確にし、皆さまと共にまわりに訴えながら新たな会員獲得に乗り出します。

ワイズメンズクラブが持つ普遍的な価値がある限り、必ず道は開けます。それを信じて争おうという試練の時に我々に力を貸してください。宜しくお願い申し上げます。

2024年7月15日 ワイズメンズクラブ東日本区理事 山崎公典